

(第1回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 6 月 2 3 日
契 約 業 者 名	(株) 大貫工務店
契 約 業 者 の 住 所	茨城県水戸市けやき台三丁目 6 2 番地 1
工 事 の 名 称	R 6 東関道延方地区改良工事
工 事 場 所	茨城県潮来市延方地先
工 事 種 別	一般土木工事
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	道路土工 1 式 路体盛土工 (I C T) 22,000m3 法面整形工 (I C T) 2,960m2 法面工 1 式 植生工 2,790m2 擁壁工 1 式 石・ブロック積 (張) 工 1 式 排水構造物工 1 式 防護柵工 1 式
工 期 (自)	令和 6 年 1 0 月 2 3 日
工 期 (至)	令和 7 年 8 月 2 9 日
変 更 前 の 契 約 金 額	2 0 9 , 0 0 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 2 8 , 9 8 5 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	2 3 7 , 9 8 5 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	1. 道路土工 工事間調整の結果、近傍の工事より土の受け取りが可能となったため、道路土工を減工する 2. 石・ブロック積(張)工 現地調査の結果、市道の機能補償が必要となるため、石・ブロック(張)工を増工する。 3. カルバート工 現地調査の結果、市道の機能補償が必要となるため、カルバート工を追加する。 4. 排水構造物工 現地調査の結果、市道の機能補償が必要となるため、排水構造物工を増工する。 5. 舗装工 現地調査の結果、市道の機能補償が必要となるため、舗装工を追加する。 6. 仮設工 現地調査の結果、市道の機能補償が必要となるため、水替工を追加する 【前川地区】 1. 排水構造物工 現地調査の結果、新設道路の流末確保のため、 排水構造物工を追加する。 2. 構造物撤去工 現地調査の結果、施工範囲内に既設構造物が確認され、工事施工の支障となるため、構造物撤去工を追加する。 3. 仮設工 現地調査の結果、施工範囲内のトラフィカビリティの確保のため、 敷鉄板及び土木シートを追加する。

(第2回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 8 月 2 7 日
契 約 業 者 名	(株) 大貫工務店
契 約 業 者 の 住 所	茨城県水戸市けやき台三丁目 6 2 番地 1
工 事 の 名 称	R 6 東関道延方地区改良工事
工 事 場 所	茨城県潮来市延方地先、茨城県潮来市前川地先
工 事 種 別	一般土木工事
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	道路土工 1 式 路体盛土工 (I C T) 22,000m3 法面整形工 (I C T) 2,960m2 法面工 1 式 植生工 2,790m2 擁壁工 1 式 石・ブロック積 (張) 工 1 式 排水構造物工 1 式 防護柵工 1 式
工 期 (自)	令和 6 年 1 0 月 2 3 日
工 期 (至)	令和 7 年 9 月 3 0 日
変 更 前 の 契 約 金 額	2 3 7 , 9 8 5 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 2 0 2 , 7 8 5 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	4 4 0 , 7 7 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	【延方地区】 1. 道路土工 起工測量の結果、盛土の高さに変更が生じたため、法面整形工 (ICT) を増工する。 2. 法面工 起工測量の結果、盛土の高さに変更が生じたため、植生工を増工する。 3. 地盤改良工 現地精査の結果、本工事施工後に油水分離柵周辺が狭陰になり、別途工事での施工が不可能であることが判明したため、固結工を追加する。 4. 擁壁工 現地精査の結果、本工事施工後に油水分離柵周辺が狭陰になり、別途工事での施工が不可能であることが判明したため、帯鋼補強土壁工を追加する。 5. 排水構造物工 現地精査の結果、本工事施工後に油水分離柵周辺が狭陰になり、別途工事での施工が不可能であることが判明したため、管渠工、集水柵・マンホール工、排水工を増工する。 6. 構造物取壊し工 現地調査の結果、廃棄物の数量が増加したため、運搬処理工を増工する。 7. 仮設工 現地調査の結果、油水分離柵の追加により当初予定していた工事用道路の使用ができなくなったため、工事用道路工を追加する。 【前川地区】 1. 道路土工 延方地区で使用する土砂の確保のため、掘削工 (ICT) を追加する。 2. 軽量盛土工 本工事施工期間に既存盛土の圧密沈下が収束し、近年発生している集中豪雨による盛土の崩壊を防ぐために軽量盛土工を追加する。 3. 防護柵工 軽量盛土上部の構造物であり、同時施工が効率的であるため、防護柵基礎工を追加する。 4. 構造物撤去工 現地調査の結果、廃棄物の数量が増加したため、運搬処理工を増工する。 5. 仮設工 現地調査の結果、施工範囲内のトラフィカビリティの確保のため、工事用道路工を増工する。